

免許状教科	中学校社会、高等学校地理歴史・公民・商業		
科目名	心身の発達と学習	科目分類	教職科目
			学科 <input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択
英文表記	Development and Learning	開講年次	<input type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 <input type="checkbox"/> 4年
ふりがな	たきざわ じゅん	開講期間	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
担当者名	瀧澤 純	修得単位	2単位
授業のテーマ	人が心理的・身体的にどのような成長・変化をするのかを学ぶ。		
授業概要	第1回から第2回は人の一生の成長・変化の概要を学ぶ。第3回以降は身体、言語、認知などの領域ごとに成長・変化を学ぶ。		
到達目標	生まれてから死ぬまでの人の成長・変化についての知識を身につける。さらに、それらの知識を応用して自分や他人の成長・変化を説明できるようになる。		
授業時間外の学習	授業計画に書かれた用語について予習し、毎回の復習を行う必要がある。自分自身や他者がどのように成長・変化してきたのか、どう成長・変化していくのかに目を向けること。		
履修条件	特にない。		
授業計画			
第1回	胎児期から児童期まで：発達段階の名称、人生におけるイベント、学習と発達とは、原始反射		
第2回	青年期から老年期まで：モラトリアム、マタニティブルー、高齢者体験セット		
第3回	身体と運動能力：神経系と筋肉における発達の順序、発達加速現象、知覚における初期学習		
第4回	言語① 産出と理解の発達：遺伝か環境か、1歳までの発声の発達、ラベルづけ、第二言語の習得		
第5回	言語② 会話に必要な知的能力：共同注意、心の理論、誤解、自己中心性、処理資源		
第6回	認知① 知的能力の発達：知能検査の種類、作業検査、双生児研究、社会経済的地位の影響		
第7回	認知② ピアジェの理論とその間違い：三つ山課題、保存課題、新ピアジェ派、素朴理論		
第8回	認知③ 記憶の発達：短期記憶と作業記憶の発達、幼児期健忘、加齢と記憶		
第9回	感情① 感情の発生と役割：自己破壊的性質、他者破壊的性質、感情の分岐、視覚的断崖		
第10回	感情② 気持ちを抑える：感情調節、プレゼント実験、自己志向的感情調節、他者志向的感情調節		
第11回	人間関係① 自己意識と他者意識：客観的自己と主観的自己、自己主張と自己抑制		
第12回	人間関係② 愛着と仲間：愛着（アタッチメント）、遊びの発達、友人との付き合い方6種類		
第13回	人間関係③ 性と家族：性差、性役割、恋愛と結婚、愛の三角形理論、ビーバーズの5つの指標		
第14回	性格と人格：能力と性格の違い、クレッチマーの3体型、類型論と特性論、自尊感情の発達		
第15回	発達と学習の障害：身体障害、知的障害、精神障害、広汎性発達障害、診断されることの利点と欠点		
第16回	定期試験		
テキスト	使用しない。授業中に資料を配布する。		
参考文献・資料	林 洋一『史上最強図解 よくわかる発達心理学』（ナツメ社、2010年） 中澤潤（編著）『発達心理学の最先端』（あいり出版、2009年）		
成績評価の方法	平常点（授業態度、提出用プリント）を40%、期末試験を60%として評価する。		
成績評価基準	【平成27年度（2015）以前に入学した学生】 優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） 【平成28年度（2016）以降に入学した学生】 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。		

オフィスアワー	① 毎週月曜 13:00～14:30 ②毎週金曜 13:00～14:30
学生への メッセージ	授業の計画および授業の内容は状況に応じて変更することがあります。授業中に変更のお知らせをします ので、授業へ積極的に参加してください。